
お弁当での小ネタ

かさのきず

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

お弁当での小ネタ

【Nコード】

N6571F

【作者名】

かさのきず

【あらすじ】

彼氏のためにお弁当を作ろうとするも、なにを作れば喜んでもらえるかわからない！そこで何気なく聞き出そうとするが……

カレー祭りだ！

「あのさ、好きなものってある？」

「君」

即答すると、彼女は一瞬にして顔を真っ赤にする。

付き合い始めてから1ヶ月。そろそろ、こういうやり取りにも慣れてきたかな、と思ってたんだけど。

「……わ、私」

「あのー、大丈夫？」

今にも倒れそうになる彼女の眼前で手を振ってみるも、まったく気付かない様子。

こりゃ重症だ。

「わ、わわわ、私を……食べ、るるるって!？」

「っておい！」

なんの話をしている！

「だって、好きな食べ物聞いたら、私だって……」

「いや、好きなものとしか聞いてないから」

とりあえず、彼女の勘違いを解いておく。

もう一ヶ月になるんだから、そのくらいやらないか。なんて思う

人もいるかも知れないが、僕はこう見えて純情派だ。

「好きな食べ物、か。カレーとかかな？」

まだ赤くなっている彼女に言う。

いや、カレーだったら、大体の人が好きだし……ね。

「か、カレーね。ようし、わかった。明日はカレー祭りよ！」

「なんか、さつきからお前のテンションについて行けないんだけど」

「明日は楽しみにしててね！」

……カレー祭をか？

お弁当！

「お弁当だよ！」

「ぐばぁ！」

ラリアットを食らって、僕は椅子ごと後ろに倒れた。

なんでこんなことになったのだろう。僕は過去を振り返って自分の落ちを探すが、残念ながらラリアットを食らう原因は、どこにも見つからなかった。

「い、いきなり何するんだ……。それと、やっぱりお前、テンションおかしい」

「だって、お弁当だよ」

至極当然そうに言うが、残念ながら僕には理解できない。

「はい、これっ！」

そして、彼女が笑顔とともに取り出したのは、くまさん柄のかわいらしい包みに包まれた重箱。
ますますもって理解できない。

お弁当を作ってきてくれたつもりなのか！？ でも二人分には4段も必要ないと思うぞ！

「それじゃあ、食べよう」

さらに、彼女は四つの重箱の全てを僕のほうに寄せてきた。

僕は、覚悟を決めた。

一応、僕たちは付き合っているんだ。これくらいのこと、彼女のためにしてやれなくてどうする。

「いざ、尋常に勝負」

「あれ？ なんかおかしなテンションになってる？」

彼女の訝しげな視線をよそに、僕は重箱を開く。

そして、その中から現れた敵は

1面のご飯だった。

まあ、最初だからな。それにしても多いけど。

後は色とりどりのおかずなんだろう。
しかし、世の中そう甘くはなかった。

2箱目、3箱目と、開けても米しか現れない。なんの拷問だ？
これ。

残す重箱は後一個。

僕は、痺れるような緊張の中、最後の蓋を開けた。

「……………なんだこれ」

レトルトカレーだ。そんなことはわかっている。なんでレトルトカレー？

「だって、昨日カレーが好きだって」

限度があると思います。

「カレーならいくらでも食べれるって、伝説が」

誰だよ。そんなこと言ったカレーバカは！？

「ふう」

まあ、いいか。

どんなものだって、彼女が僕のために作ってくれたんだ。文句を言う筋合いなんてない。

それに、まあ……………多少は嬉しいしな。

僕はレトルトカレーの封をきって、ご飯の上にぶっかける。

そして、渡されたスプーンを手にとり、

「いただきます」と、大きな声で言った。

レトルトカレーは、冷たかった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6571f/>

お弁当での小ネタ

2010年10月15日01時46分発行